

成田市の小さな実践



自己紹介

岩瀬 晴美

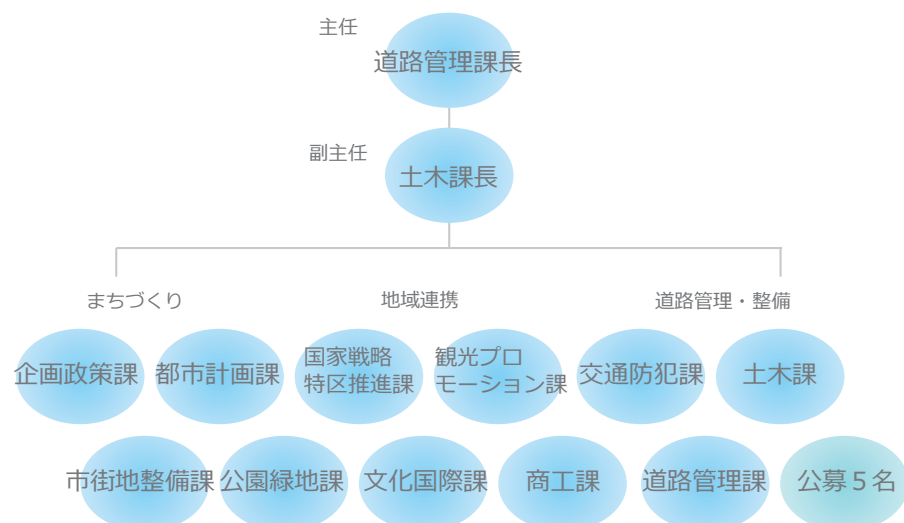


成田市役所
都市部 都市計画課
成田市ほこみち推進プロジェクトチーム



平成20年（2008）入所
行政職

成田市ほこみち推進プロジェクトチーム



成田市ほこみち推進プロジェクトチーム

令和4年4月15日設置 できたてホヤホヤ♪





主要な駅前広場を中心とした
市街地の賑わいのある道路空間の構築を！



駅から成田山新勝寺への参道



一方通行の道路



観光客で賑わう



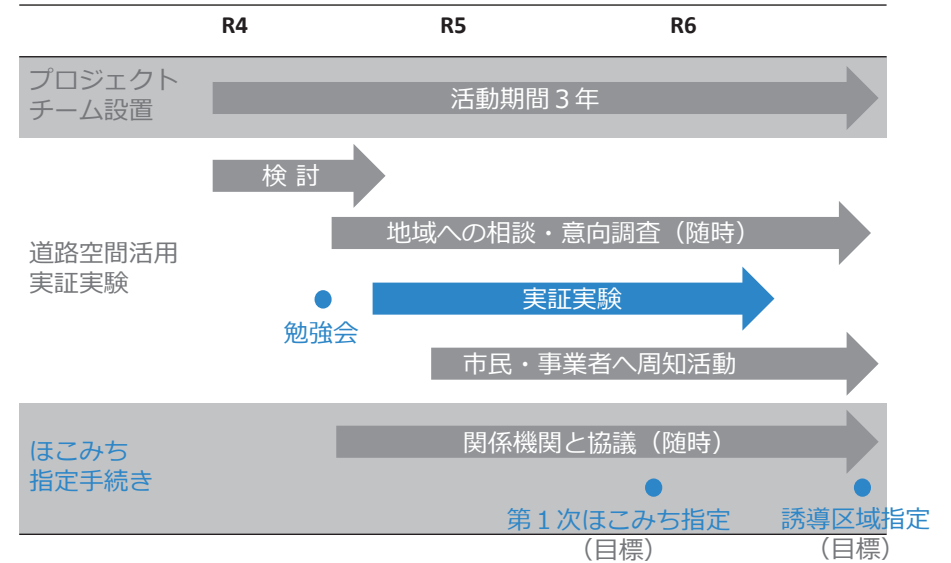
車も多い



交通規制



実施スケジュール案



勉強会

- 日時 令和4年8月4日 13:00~17:15
- 場所 成田市役所中会議室

1. 講義テーマ

「魅力がなければ人は来ない
～ 人が行ってみようと思う魅力とは何だろうか、
それはどのようにすれば作れるか～」

講師：東京大学名誉教授 堀 繁 氏

2. 演習

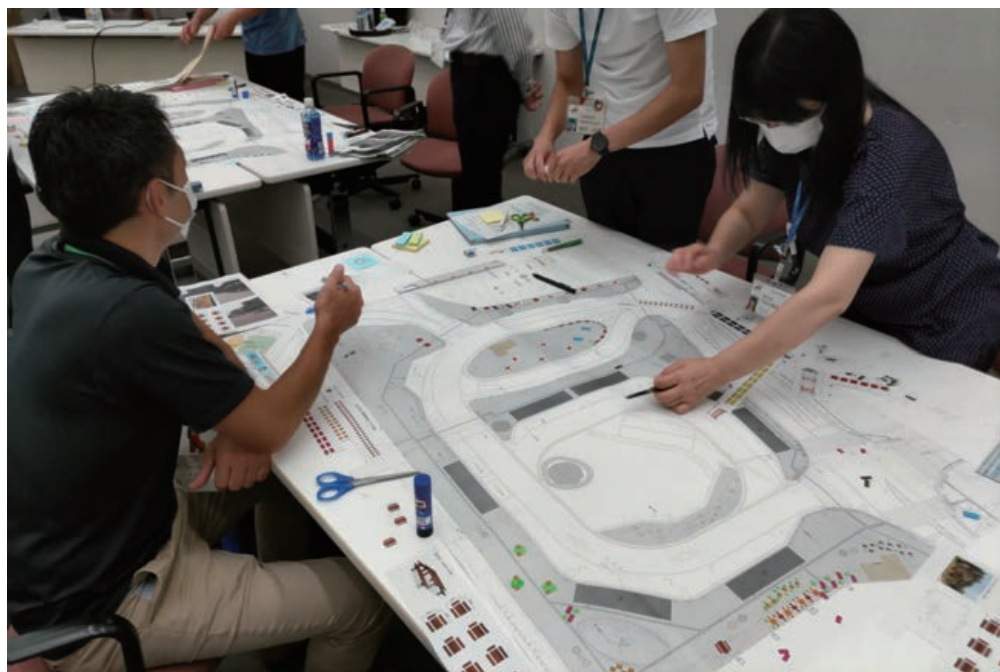
JR成田駅東口第二種市街地再開発事業
駅前広場工事 平成28年3月竣工











グループで発表

2022.08.04



2022.08.04



先生からアドバイス



ストリートダンス的なもの



ご清聴ありがとうございました



関東地方整備局都市整備課 伊藤大祿

話すこと

- ▶ モールを
 - 8つの場要素から見てみた。
 - 使ってみました。（市職員の取組）
- ▶ エリア価値向上整備事業もぜひ検討してください！

R3 第9回より

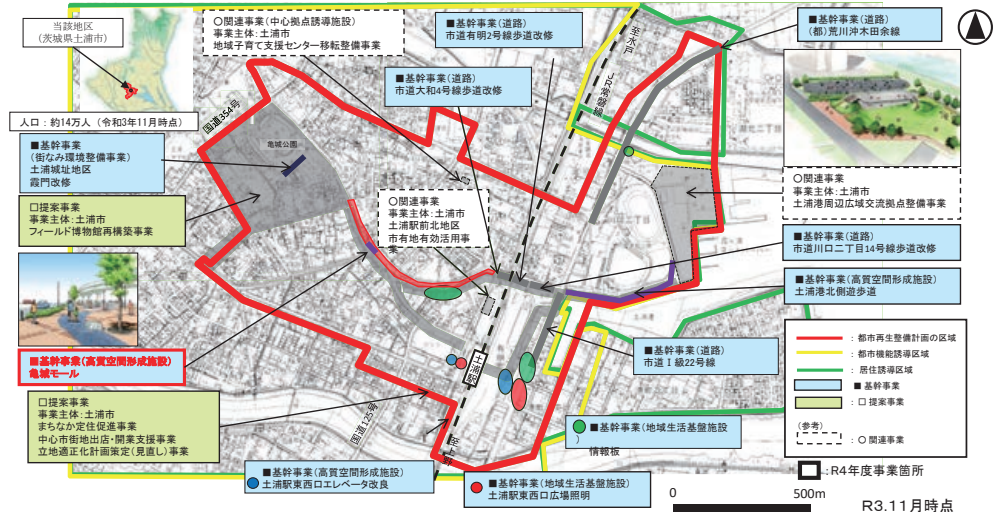


https://www.osi.tsukuba.ac.jp/fight_covid19_interview/watari/

つちうらしちゅうしんしがいち

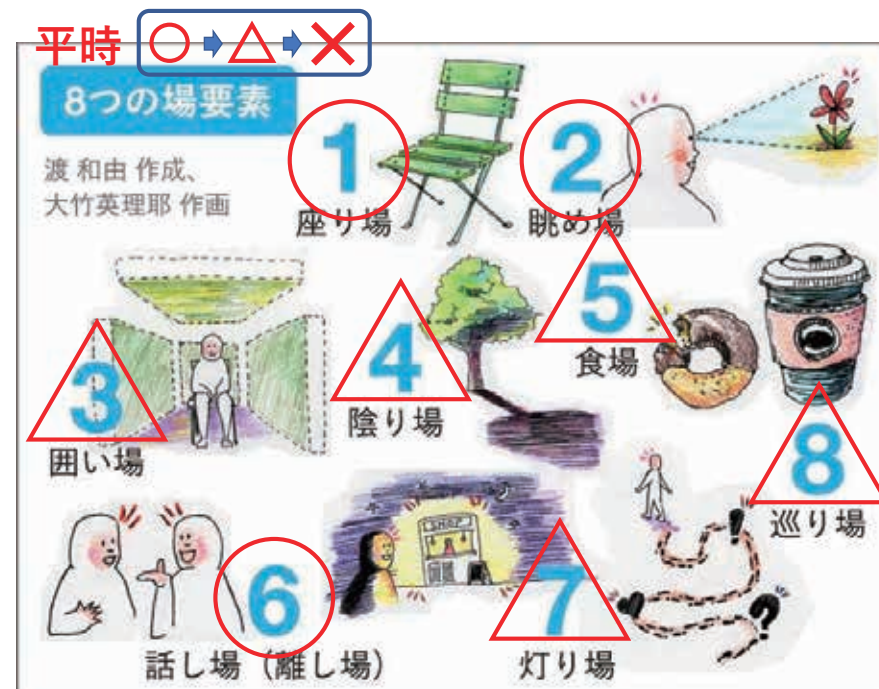
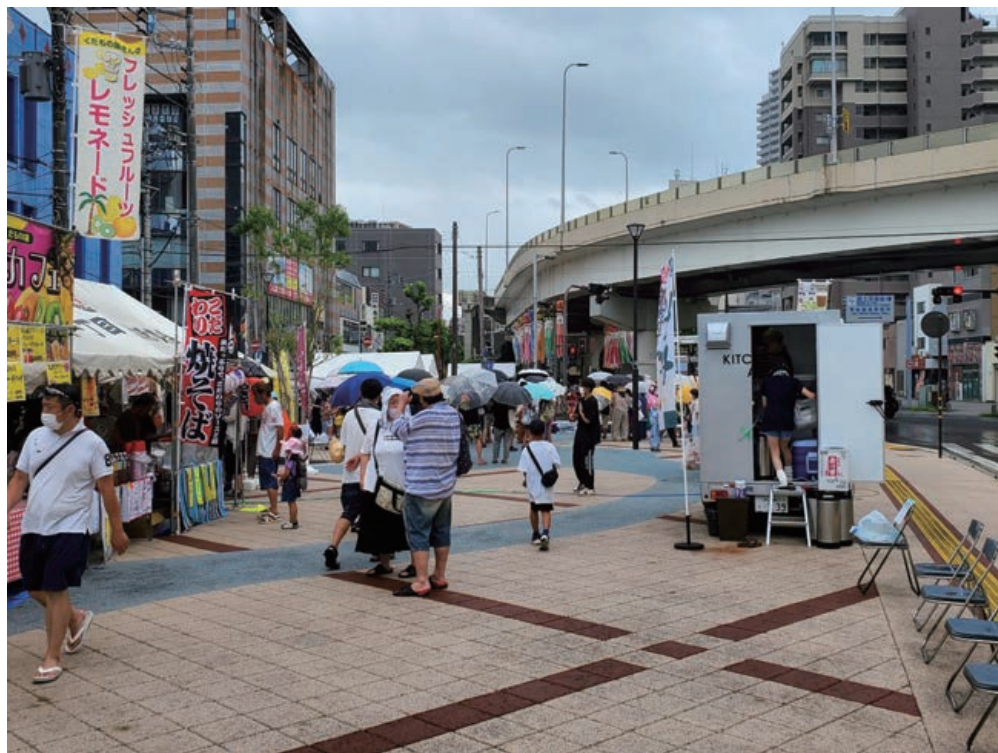
土浦市中心市街地地区都市構造再編集中支援事業(茨城県土浦市)

- ◆事業概要：土浦市中心市街地活性化基本計画の区域であり、中心市街地へのアクセシビリティ・回遊性向上を図るための道路整備、公共交通の発着点となる土浦駅周辺整備、水辺や歴史資源を活かした観光交流拠点とそれを結び快適な歩行空間の形成に合わせ、地域子育て支援センター転移整備を行い、高密度な居住誘導を図り、街を行き交う人を増加させ、賑わいあふれる街を創造する。
- ◆事業主体：土浦市 ◆面積131.6ha ◆交付期間：令和元年度～令和5年度 ◆立地適正化計画公表時期：平成29年3月
- ◆全体事業費：2,217百万円 ◆交付対象事業費：1,693百万円（国費：838.0百万円） 国费率：49.5%





イベントの発生で、



出店や装飾によって。



https://www.osi.tsukuba.ac.jp/fight_covid19_interview/watari/

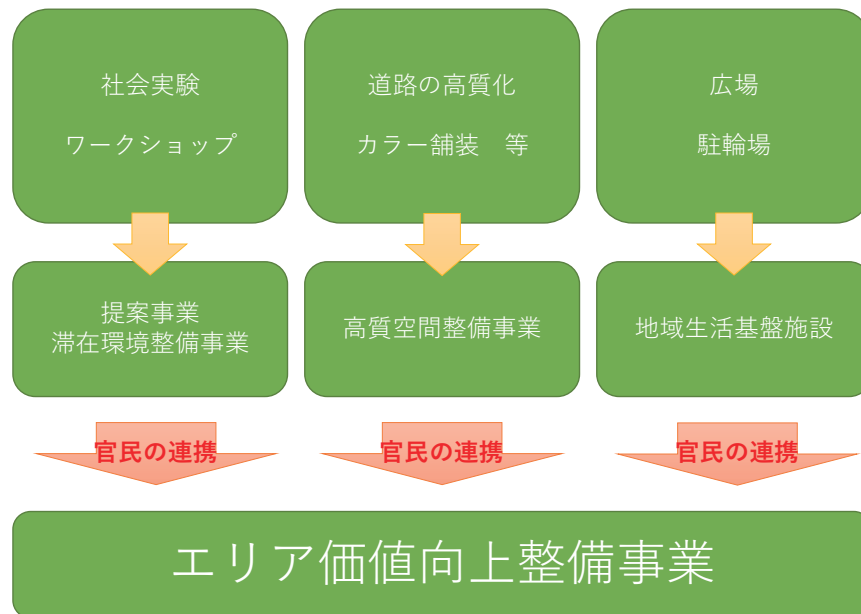
囲い場、陰り場をつくって。



好きな景色を取り入れる
(個人的妄想 7, 8のプラスに



拡充されたエリア価値向上整備事業：大まかなイメージ



自身の気持ちの変化

道路＝目的地に安全・安心に向かうための施設

+ 過ごせる空間

以上です、
ありがとうございました。

まちが

“自分ごと” 国分寺市協働事業

こくぶんじカレッジ

参加者募集中!

2023年6月20日

～ひとづくりから始めるまちづくり～

まちづくりの担い手を育成する人材育成講座

国分寺市 まちづくり部 まちづくり推進課
まちづくり推進担当係長 荻野

カリキュラム

国分寺のまちを
居心地よくするプロジェクトを
グループワークで企画します。
仮え方やアイデアを整理するスキルを学び、
企画を実践につなげます。

7 振り返り会
2023年1月21日

5 発表準備
見える化
2022年11月26日

4 プロジェクトの
中間発表
2022年10月22日

3 チームづくり
プロジェクトの検討
2022年9月10日

2 国分寺を知る
課題整理
アイデア出し
2022年8月13日

1 オリエンテーション
自己紹介
2023年7月16日

国分寺市協働事業

まちづくりの担い手を育成するための
市民向け人材育成講座(36名程度/年)

まちを楽しむ活動を始めたい人
地域と繋がる事業やお店を始めたい人
これらをサポートしたい人 が対象

講座修了後も実現に向けたサポートを
継続的に実施

R1からスタートした事業
これまでに118名修了
23+αの企画が誕生

こくぶんじカレッジ

こくぶんじカレッジ

こくカレから生まれたプロジェクト(例)「こくフェス」

Music Days 2022

こくフェス

音楽の力で国分寺をもっと元気に!

2022年5月28日(土)、29日(日)

来年も企画中!
次回はみちも使いたい

想い

国分寺は今も昔も音楽のまち。コロナ禍で大変な思いをされているアーティスト、ライブハウス、発表の場を失った子供たちを応援したい。音楽にふれあい、楽しむことで国分寺のまちを元気にしたい

プロジェクト

駅前広場、公民館・ホール、ライブハウスなど市内
●23箇所を使った同時多発型音楽フェス

アクション

実行委員会を発足
市との共催事業として5/28,29開催

こくフェスHP





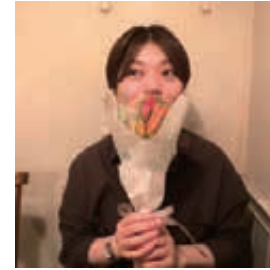
歩きたくなるまち・みちへの視点の変化
～ウォーカブル初心者編～

日本交通計画協会 企画室 研究員 銅崎

自己紹介

銅崎 裕香(どうぎき ゆうか)

(公社)日本交通計画協会 企画室 研究員(2022.6入社)

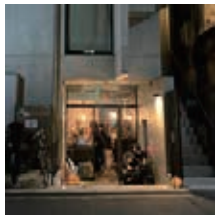


【専攻】 都市計画・景観 + 文化人類学
【趣味】 まち歩き、ライブ鑑賞



1

歩きたくなるポイント -視点Lv.1.0-



キーワード

緑・自然

休憩・歓談スペース

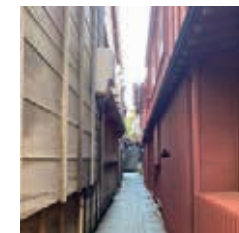
沿道の建物・店舗の魅力

2

歩きたくなるポイント -視点Lv.1.5-

「誰が」「いつ」「どのように」使うか
近隣、他者、他の交通モードとの関係性
(譲り合いながら、少し大胆につかう)

→実現可能にする裏ワザを集める



3

目指せLv.アップ!!

これ以上、残念な公開空地を増やさない
「仙台滞在空地MAP」の取り組み



仙台市 都市整備局 市街地整備部
都心まちづくり課 技師 大山 宗之

なぜ、取り組んだのか

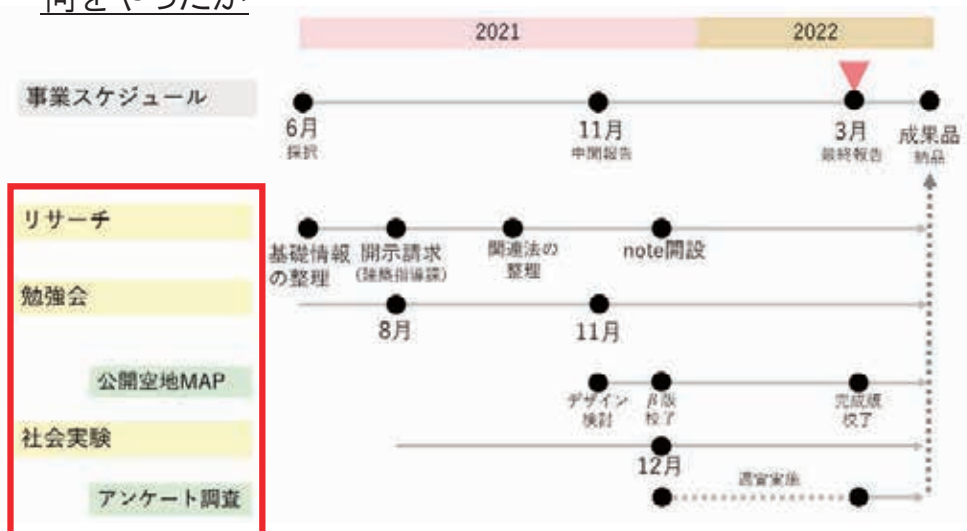
- ・まちづくりの事例集≡金太郎あめ → やりたくない
- ・どう使ってほしいのかわからない空間 → 減らす
- ・建築家×まちづくり×行政の対話の場 → つくる



勉強会の様子



何をやったか



検討段階: 立体物+床面のデザイン



実際の写真: 立体物+床面のデザイン



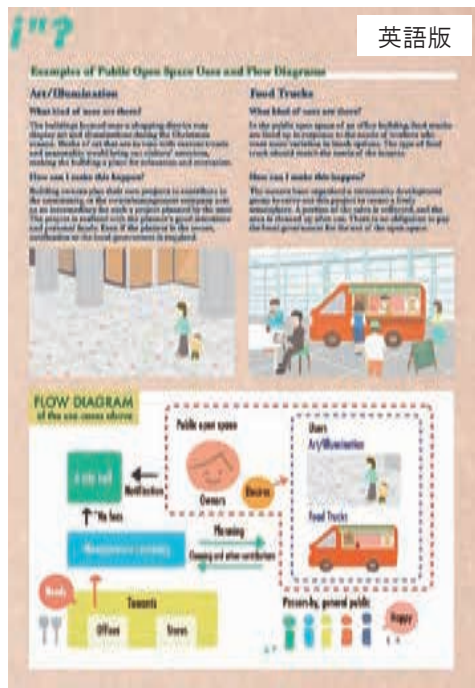
仙台滞在空地MAP



デザイン: 藤原 茜



デザイン: 藤原 茜



翻訳：一般社団法人for Cities



翻訳：東北大学大学院生

その後、何をやったか

- ①インターネットラジオに出演
- ②日本建築学会大会(北海道)に寄稿文を投稿
- ③建築文化週間2022「STREET TOOLS」に選出

やってみて、何が変わったか(まちづくり、組織)

- ①海外では、日本の取り組みを知りたいが、翻訳されていない
- ②令和4年度、勉強会を継続的に開催することが決定

受賞歴

日本建築設計学会「2020年代の建築をとらえる言葉」コンペ採択
残念でなんとも言えない公開空地 ⇒ “後悔”空地と名付けた。
<http://www.adan.or.jp/info/3321>

参考URLなど

note 未満建築アーキテクチャ (仙台滞在空地MAPは、こちらからダウンロードできます)
https://note.com/miman_archi

せんだいをクリエイティブでつなぐウェブメディア(SC3)
<https://sendai-c3.jp/project/miman-architecture/>

インターネットラジオに出演
「Good News for Cities～都市に関する炉辺談話」
<https://anchor.fm/good-news-for-cities>

日本建築学会大会(北海道)に寄稿文を投稿
2022年9月8日開催、都市計画分野の研究懇談会に寄稿
「公開空地の変遷と利活用に向けた考察～宮城県仙台市の事例を参考に～」

建築文化週間2022「STREET TOOLS」に選出
2022年10月12日(水)～17日(月)11:00～18:00 場所:建築博物館ギャラリー
<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productid=667275>



やってみて、何が変わったか(個人)

社会や制度、組織のあいだで、

抜け落ちてるものを知り、向き合っていく。

